

雪山訓練：谷川岳 (2回目)

- ◆日程 2018年12月8日(土)～9日(日)
 ◆メンバー L：須田(健)、日比野、岡村、富田、池本、小濱、小林(悦)、山中、横岩、大村、大塚

本格的な冬山シーズンに備え、雪中行動の初心者入門として、また、経験者には再訓練として計画された山行である。先週に続き、同じ谷川岳での実施となった。



12月8日(土) 天候：晴れのち雪

5時20分に自宅近くで須田車にピックアップして頂き、集合地点の町田駅へ。日比野車、岡村車を合わせた3台に分乗し、1時間遅れの出発となった。

谷川岳ロープウェイ土合口駐車場に到着次第、準備をしてロープウェイに。天神平に着いてみると予想通り雪が少ない。先週よりも雪が少なく、今日中の雪トレは難しそう。今夜の積雪予報を信じ、二日目の予定と入れ替えて谷川岳山頂を目指すことに。

まずはキャンプ地の確保だが、行動開始が遅れたため、予定の熊穴沢避難小屋は先行したパーティーに占められていると判断、その手前に探すことになった。慣れない重装備を背負い、雪と泥混じりの中、バランスを崩さないように気を配りながら進むと、ほどなく天神峠へのルートとの分岐点付近の平坦地に到着。ここに幕営し、不要な荷物をデポして出発。雪山初心者の自分は先頭の岡村さんの後ろに付かせて頂いた。

途中の熊穴沢の避難小屋前には、やはりテントが。山頂までは日当たり良いルートのため、下の方では雪解け水が小川になっていた。アイゼン不要のまま順調に進み、山頂(トマの耳)に到達。赤城山方面は良い眺めだが、ここから程近いオキの耳は雲に見え隠れする状態。日没時間を考慮のうえ、オキの耳への登頂は断念して下山へ。避難小屋で休憩を挟み、幕営地着は日が陰り始めた頃だった。

夕飯は富田さん用意のボリューム満点な鶏鍋。お酒と相まってすっかり温まったところで、先月の金時山で雫さんから頂いた歌集から山中さんを中心に歌って盛り上がる。隣の女子テントまで聞こえたようだ。その間、雪が降り出し、翌日の訓練への期待が高まる。

お腹一杯になったところで、片付けと寝支度。何しろ皆さん本当に手早い！20時頃就寝。

初の雪中泊で暫くは足先が冷たくて寝付けず。寝付いたら今度は体が震えて目覚める。肩から冷気が流れ込んだためらしく、首まで密閉してようやく寝付けた。 (記：大塚)

CT：土合口 10:40 - 天神平 11:20 - 幕営 11:40/12:30 - 熊穴沢避難小屋 13:00
- 谷川岳山頂 (トマの耳) 14:30 - 熊穴沢避難小屋 15:45 - 幕営地 16:15

12月9日(土) 天候：雪

翌朝 5 時起床し、小濱さんご用意のラーメンで朝食。小濱さんお手製の焼豚が最高！食後すぐ撤収し、天神平へ。ロープウェイ乗り場でビーコンによる練習後、今度は新雪たっぷりのグレンデへ。まず、ブーツとピッケルでの登り方から始まり、耐風姿勢、次いでアイゼン、ワカンの順で練習。今はサクサク登れるが、凍った斜面や、荷物がある状態の登り降りは危険とのことである。大先輩の山中さんから、後続者の上方でトラバースすると雪が落ちて危ないなど、細やかなアドバイスを頂いた。

続いてピッケルを用いた滑落停止訓練。須田 CL が用意して下さった簡易雪ソリで勢いをつけて滑り、体の向きを変えてピッケルを雪面に打ち込む。実際やってみると、つま先をつい雪中から上げ損なう。これでは事故の際は足首を骨折してしまう。転げ落ちて試すと体の向きが分からなくなるため余計につま先を上げにくい。もし荷物を背負った実践で転倒したらと思うと、更に訓練が必要だ。ひとしきり練習後、昼過ぎに撤収。

ロープウェイを降りたら、荷物の片づけ後、日帰り温泉へ。湯上りはひとしきり卓球大会で盛り上がる。関越道に入ってすぐの赤城高原 SA で待ち合わせて昼食。多くの人が名物のもつ煮定食を頬張った。帰途、関越で事故渋滞があったが、他は極めて順調。夜 8 時頃、無事に帰宅。

個人的には楽しかった半面、準備と片付けを手早くすることと、雪中重装備でのバランス良い歩き方、そして転倒の際につま先を上げることが課題と感じた。これを機会に、冬合宿を始めとする雪山行に多く参加し、しっかり経験を積んで行きたい。 (記：大塚)

CT：幕営地 7:30 - 天神平 8:00 - 雪トレ 8:15/11:45 - 土合口 12:30

